

## あかしSDGs推進助成金の実施報告について

2022年度の「あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)」の始動に伴い、地域や市民団体・教育機関・事業者等とのパートナーシップによるまちづくりを一層推進するため実施した「あかしSDGs推進助成金制度」について、助成事業が終了しましたので報告いたします。

### 1 助成金制度の概要

#### (1) 対象事業

2030年のあるべき姿「SDGs未来安心都市・明石 ～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」の実現に向けたSDGsに関する事業で、地域課題の解決につながるものやSDGsの複数のゴール達成等を目指すもの。

#### (2) 対象者

あかしSDGsパートナーズ※登録団体

※あかしSDGsパートナーズとは…

SDGsに積極的に取り組む各種団体・学校・事業者等を対象とした登録制度(4/1現在:137団体)。

#### (3) 事業期間

2022年4月1日～2023年3月31日

#### (4) 助成額等

① 助成率:助成対象経費の10/10

② 助成限度額:100万円

### 2 助成事業の実施結果

#### (1) 助成件数・助成額

15事業(総額7,274千円)

※申込35事業 → 助成決定17事業

〔内、2事業(海と空の約束プロジェクト「幼児教育応援事業」、株式会社フログハウス「団地カエル in 明舞団地」)は実施に至らず中止。〕



#### (2) 実施内容



別紙 参照



### 3 その他

- ・ 本事業の実績を市ホームページにて公表するとともに、あかしSDGsパートナーズ登録団体に周知することで、他団体の取組の参考とします。
- ・ 2023年度から本事業を「あかし市民活動応援助成金」へ統合・拡充し、地域課題の解決や共同利益の実現につながる市民活動を応援する助成事業として実施しています。



あかしSDGs推進助成金 助成事業の実施報告  
(2022.4.1~2023.3.31)

団体名・助成額		事業内容
1	<p>明石工業 高等専門学校</p> <p>助成額:70万円</p> 	<p>[地域内の生物系有機物循環と緑のまちづくり]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●明石高専キャンパス内の雑草、落葉の全量を教員と学生の毎朝のボランティア活動で堆肥化し、近隣自治会へも提供するとともに、伐採樹木や剪定枝を学内の薪ストーブで燃料として使用し、灰は堆肥に混合するなど、生物系有機物の循環を行った。</li> <li>●12月に一般市民向けの堆肥の作り方ワークショップを実施(参加者10名)。</li> <li>●学内に駆除した外来種のミシシippアカミミガメ堆肥を使った菜園を作り、無農薬有機栽培での野菜の生育に有効であることを確認した。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理費及び肥料・培養土の購入費を削減できた。</li> <li>・明石高専と近隣自治会との繋がりがより緊密となり、今後、学生との住民との交流が活発化することが期待される。</li> <li>・リヤカー約30杯分のゴミ削減が行われた。また、できた腐植土、薪ストーブの消し炭は土壌中へ炭素固定された。</li> <li>・アカミミガメの堆肥が無農薬有機栽培での野菜の生育に有効であることを確認でき、駆除した外来種の有効利用につながる可能性を見いだせた。</li> </ul>
2	<p>あかし パラスポネット</p> <p>助成額:60.4万円</p> 	<p>[パラスポーツによるインクルーシブなまちづくり事業]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●厚生館及び学校でパラスポーツ(ボッチャ、卓球バレー等)指導を実施(計3回、参加者89人)。</li> <li>●兵庫県内の関係機関及び関係団体と連携し、市民を対象とした「あかしパラスポフェスタ」等のパラスポーツイベントを開催(計2回、参加者195人)。</li> <li>●「ビーチスポーツフェスタ in あかし」及び「ウィズミーツ×みんなの学校」でボッチャの体験会を開催し、パラスポーツの普及啓発を行った(計2回、参加者76人)。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献としてパラスポーツを後援・支援してくれる民間企業と連携する仕組みを作ることができ、事業の継続性を確保できた。</li> <li>・子どもから大人まで、障害の有無や性別、国籍に関係なく、多くの人々の交流により互いの理解が深まり、共生社会の実現に向けて貢献できた。</li> <li>・イベント時にマイボトル持参を呼びかけ、ウォーターサーバーを設置することでプラスチックごみを減量できた。</li> </ul>

<p>3</p>	<p>NPO 法人 ウエルネスハート</p> <p>助成額:28 万円</p> 	<p>【「コミュニケーションカード」からはじまる地域と人をつなぐ防災、災害にも強い地域コミュニティづくりチャレンジ事業】</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「障害当事者で考える防災、災害時について」をテーマに2020年から開催している意見交流会での参加者の声をもとに、コミュニケーションカード※『緊急時わたしについて』(試作品)を作成。</li> <li>●モニター地域(藤江校区まちづくり協議会、人丸まちづくり推進会)でのカード記入実施会・意見交換会を開催。</li> <li>●上記で出た意見を踏まえ、コミュニケーションカードの修正を行い、完成させた。</li> </ul> <p>《※コミュニケーションカードとは…》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前や住所などの基本情報とともに、「わたしができること」「おねがいたいこと」等を記載するカード。予め記載し、携帯することで、災害などの緊急時をはじめ、いつでも最低限伝えておきたい事項を提示することができ、適切なサポートを受けやすくするほか、災害時の支援活動にも活かすことができる。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害などの理解促進、地域でのコミュニケーション機会を創出することが見込まれる。</li> <li>・地域コミュニティが形成されることで、環境関連の取組においても地域で取り組む意識の向上につながる。</li> </ul>
<p>4</p>	<p>江井ヶ島 漁業協同組合</p> <p>助成額:100 万円</p> 	<p>【豊かな海を守る海上清掃及び廃フロートの再資源化】</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海上清掃を実施(1回/底曳船6隻、22人参加)。底曳網で海底ゴミを回収したほか、漂着浮遊ゴミを網で回収した。</li> <li>●通常廃棄処分をする廃フロートを燃料ペレットにする機器をレンタルし、実証実験を実施(620個の廃フロートを処分)。また、できたペレットの燃焼試験を実施した。</li> <li>●江井ヶ島小学校の3年生を対象に、海洋プラスチックごみやその他マイクロプラスチック問題をテーマにした出前事業を実施。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃フロート処分費を削減できた(処分費¥2,200/個)。</li> <li>・子ども達に豊かな海づくりに関する教育を提供し、意識の向上に寄与した。</li> <li>・海上ゴミ・漂着ゴミを回収できた。</li> <li>・廃フロートを再資源化することができた(埋立て処分するしかなかった廃フロートを燃料材へと変換することができ、資源の有効活用を行えた)。</li> </ul>

<p>5</p>	<p>casa そら</p> <p>助成額:93.8 万円</p> 	<p>[水と緑かがやく明石の里山～しごせんのもりを次世代につなぐプロジェクト～]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「あそびキャンプ」や「もりのようちえん(まるたんぼうとあそぼう)」など、主に親子を対象とした自然体験事業を実施(計7回、参加者167名)。</li> <li>●里山の魅力を感じてもらうイベント(「木もれ日フェスティバル」)を開催(参加者41名)。</li> <li>●木・竹の剪定や草刈りなど、持続可能な森づくりを実施(計3回)。</li> <li>●市民への啓発の一環として、一年を通じて行ったイベントの内容をまとめた冊子や里山の様子が分かる動画を制作した。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な里山の様々な価値を見える化することができた。</li> <li>・不登校やひきこもり、障害のあるこどもたちもフラットに参加できる場を提供することができた。</li> <li>・市内で活動する複数の市民活動団体とのパートナーシップで事業を実施することで、市民力の向上が図られた。</li> <li>・こどもから大人まで、気軽に継続的な自然観察を行うことができ、環境の大切さや環境保護の意識の向上に寄与した。</li> </ul>
<p>6</p>	<p>NPO 法人 多文化センター まんまるあかし</p> <p>助成額:76 万円</p> 	<p>[外国人住民を情報弱者にしないための地域密着型多言語情報発信事業]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●NPO法人のホームページを多言語(やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語)で作成し、「広報あかし」の中から、外国人に必要なと思われる情報を抜粋したものや地域の情報などを発信した。</li> <li>●「広報あかし」の抜粋版をニューズペーパー形式で作成し、市の窓口で配布した(計14回)。</li> <li>●ハザードマップのやさしい日本語版を作成した。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あかし3割おトク商品券」や「明石市サポート利用券」などの情報を発信することで、外国人住民が地域経済活動へ参画することができた。</li> <li>・外国人住民にコロナウイルスワクチンの接種やハザードマップなど、様々な行政情報や、明石の名物・名所などの地域情報を提供することで、外国人住民の地域参加を促すことができた。</li> <li>・ゴミ出しのルール等を多言語で発信することで、街の美化やリサイクルの促進につながった。</li> </ul>


7	<p>鳥羽青年會・ 屋台保存会</p> <p>助成額:25.7万円</p> 	<p>[海ガメプロジェクト]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども会や地域住民と協力し、林崎松江海岸で自作の手動式装置を使用し、砂浜に散乱した炭や砂浜の中に埋もれている(埋められている)炭及びプラスチック類等のゴミの除去作業を行った(全10回、約120名参加)。</li> <li>●SNSを活用し、ゴミの持ち帰りや所定の収集場所への廃棄を呼びかけるとともに、炭、ゴミの処理について情報発信を行うなど、海岸美化の啓発を行った。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな海岸にすることで、魅力アップに繋がり、利用者増加による経済効果が見込まれる。</li> <li>・砂浜に散乱する炭や海洋プラスチック等の環境問題を広く知らせることで、利用者(市民)の海岸に対する美化意識の向上が図られた。</li> <li>・海ガメが安心して産卵できる環境作りの一助となった。</li> <li>・次代を担うこどもたちの環境に対する意識の向上に寄与した。</li> </ul>
8	<p>BAKERY802</p> <p>助成額:48.2万円</p> 	<p>[BAKERY802]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄される明石鯛などの市の名産品や地元素材を使ったパン等の商品を開発。 (鯛のサンドイッチ、たこパン、わかめのフォカッチャ、鯛・タコ・小エビのリエット等)</li> <li>●SDGsに興味・関心をもってもらうためのイベントを開催し、2週間ごとにSNSを通じてクイズを出題し、抽選で賞品を進呈した(全4回、平均100件の応募)。</li> <li>●こども食堂でフードロスに関する出前授業と新しく開発したパンの試食会を実施した(25名程度参加)。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっとしたキズやサイズ感等で価値の下がった鯛や蛸等を有効活用することで、漁師や卸業者の売り上げ増につながった。</li> <li>・明石の地元素材を使ったパンを開発し、Instagramを通じて発信することで、地産地消の促進につながった。</li> <li>・イベントでのSDGsクイズを通じて、若い世代やこども達にもSDGsに興味を持ってもらえた。</li> <li>・廃棄される魚介を使う事によってフードロスの削減となった。</li> </ul>

<p>9</p>	<p>ヘリテージ明石</p> <p>助成額:50 万円</p> 	<p>[明石ヘリテージマップの日本語版と英語版の Web サイトの構築]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たにウェブサイトを作成し、ヘリテージ明石で発行しているまち歩きマップを掲載。</li> <li>●まち歩きマップの英語版を作成したほか、トイレやバリアフリー情報も記載するなど、障害のある人や高齢者等にも配慮したマップを作成し、ウェブサイト上に公開した。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客を始めとした来街者が増え、明石市内での滞在時間が増えることで、地域経済の活性化に寄与した。</li> <li>・市民の明石の歴史的文化的価値への関心を高めることに寄与した。</li> <li>・車椅子の方々や、子供連れ、年配の方々が出かけやすくなるとともに、明石のヘリテージに対する関心を高めることにつながった。</li> <li>・オンライン化により紙の使用量を削減できた。</li> </ul>
<p>10</p>	<p>明石市立 松が丘小学校</p> <p>助成額:21 万円</p> 	<p>[ホタルプロジェクト]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ふるさと松が丘にホタルを飛ばそう」という企画がスタートし、今年で6年目。今年ホタルの自生を目指し、本事業を実施した。</li> <li>●地域のボランティアやホタル育成の専門家をゲストティーチャーに招き、ホタルが育つ環境づくりについて学び、3年生児童が校内にホタルゾーンを設置した。 幼虫を200匹放流し、外敵から守るためにホタルゾーンにネットを設置するなど、ホタルが育ちやすいよう、環境整備を行った。</li> <li>●2年生児童が地域のボランティアの協力を得て、地域の畑で野菜作りを行い、収穫した野菜を地域住民に販売することで、ホタル購入資金の一部とした。</li> <li>●オープンスクールで3年生児童が保護者や地域の方を対象にホタルプロジェクトの説明を行うとともに、学校だよりや SNS を通じて本プロジェクトの周知を行った。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達で育てた野菜を販売しホタルの購入資金の一部にすることは、子ども達への経済教育にもなった。</li> <li>・郷土愛(地域愛)の醸成につながった。</li> <li>・生物多様性の保全に寄与した。</li> <li>・こどもの環境に関する意識が向上した。</li> </ul>

<p>11</p>	<p>NPO 法人 みっくす</p> <p>助成額:11 万円</p> 	<p>[持続可能な地域づくり ステップ1]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●放課後児童クラブや近隣のこども園・幼稚園の保護者及び近隣住民に絵本の寄付を募り(寄附数246冊)、近隣の小学生が回収した絵本のクリーニングを実施。クリーニングした絵本(30冊)は法人のカフェや自習室で一般開放した。</li> <li>●近隣の小学生(3校)と高校生ボランティアが協力して近隣の公園を調査し、公園マップを作成。市内団体の協力のもと、英語、中国語、ベトナム語へ翻訳した公園マップを制作し、近隣のこども園・幼稚園・小学校等をはじめ、大久保駅前でも配布した。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の生活困窮世帯へのサポートとなった。</li> <li>・住みやすいまちづくりや多様性について子どもたちが考える大切な機会となった。</li> <li>・資源の有効利用(家庭ごみの削減)につながった。</li> <li>・環境問題やごみ削減に対する、子どもたちの理解度の向上に寄与した。</li> </ul>
<p>12</p>	<p>社会福祉法人 明桜会</p> <p>助成額:47.4 万円</p> 	<p>[SDGs 啓発イベント「トゥギャザー☆フェス」の開催]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者や子ども、高齢者にSDGsの意義や目的を気軽に、体感・理解してもらうためのイベントを開催(来場者約520名)。</li> <li>・アップサイクルやリユースの啓発として、不要になった衣類を使ってファッションショーを開催。</li> <li>・ユニバーサルスポーツの体験会を開催。</li> <li>・福祉事業所によるクッキー等の物品販売を実施。</li> <li>・福島の復興支援のために集められた毛糸と裂き布で作るオリジナル小物を作成するワークショップを開催し、復興支援及びリユースの啓発を行った。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の収入増につながった(福祉事業所が出店したブースの売上)。</li> <li>・SDGsを知る機会を提供することができ、また、具体的に自分事として取り組めることを発信することができた。</li> <li>・参加者のリユースの大切さに関する意識を向上させることができた。</li> </ul>

<p>13</p>	<p>メルとモノサシ</p> <p>助成額:27.2万円</p> 	<p>[エシカルブランドの思いに触れるマルシェ]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サステイナブルな生産背景を持つ商品の展示販売を行った(来場者約100名)。 (播州織の生産工程で出るタテ糸の残糸で作るピアス、シリア難民等が作るアクセサリーや小物、障害のあるアーティストがデザインしたアートハンカチ等)</li> <li>●作り手と一緒にサステイナブルを体感する場として廃材ワークショップ等を開催した(約30名)。 (テント生地 of 残反で雑貨づくり、倉庫に眠る紙でノートづくり、漂着物アクセサリー受注会)</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内でエシカル消費を浸透させる機会となった。</li> <li>・社会課題や気軽にできる社会貢献活動に気づく機会を提供できた。</li> <li>・参加者の環境意識の変化や、これからの生活を見直す機会を提供できた。</li> </ul>
<p>14</p>	<p>株式会社 rhizome care</p> <p>助成額:44.1万円</p> 	<p>[精神疾患や障害があっても地域で過ごせるように援助する事業]</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般向けのセルフケア、ゲートキーパー(自殺予防)、看取り、発達障害に関する勉強会を開催(計4回、参加者90名)。</li> <li>●発達が気になるこどもの親を対象とし、子育ての中での日々の困りごとを話し合う「凸凹カフェあかし」を開催(計4回、参加者14名)。</li> <li>●10~20代の学生を対象に、参加者から募ったテーマについてオンラインで話し合う「てつがくカフェ」を月1回開催(計5回、参加者13名)。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者や発達障害者の社会参加への可能性を見いだせた。</li> <li>・勉強会の中で、地域住民や教員などの発達障害への理解が深まり、発達障害当事者やその家族が暮らしやすくなる地域となっていくことの一步となった。</li> </ul>



15	<p>和坂かっこ食堂 ボランティア グループ</p> <p>助成額:24.6万円</p> 	<p><b>【こども食堂 SDGs 勉強会】</b></p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こども食堂でアカウミガメの保護やペットボトルのリサイクル、南極大陸の現状など、SDGsの勉強会を実施(計3回)。</li> <li>●テイクアウト分について、容器を使い捨てのものから、環境負荷が低い素材を使用した、繰り返し使えるお弁当箱へと切り替えるとともに、レジ袋、割りばしの使用を廃止。</li> <li>●こども食堂で提供する料理の食材として、フードドライブや地域の方から寄付された食材を活用し、フードロスの削減に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブの活用やレジ袋・割りばしの使用を廃止したことで経費を削減できた。</li> <li>・こども達やスタッフのSDGsに関する理解が深まり、各家庭でもSDGsの取組を実施するようになった。</li> <li>・使い捨ての弁当箱等の廃止によりごみの削減につながった。</li> </ul> </div>
----	--	---